

豊後水道研究集会

九州産業大学地域共創学部 行平 真也

1. 研究目的

豊後水道の海洋環境は、瀬戸内海系水や急潮・底入り潮の外洋系水の流入、水道内の潮流などの影響を受けて複雑に変化し、豊後水道及び周辺海域の水産資源変動にも影響を与えている。水産海洋学の研究対象として魅力的な豊後水道を舞台に、これまで海洋物理学、海洋生物学、水産学など、それぞれの学問領域ごとに様々な研究が行われてきた。しかしながら、豊後水道の多様かつ複雑な海洋環境や水産資源の変動を、本来ならば関連付けて議論されるべきであるが、両者の間に存在する低次生産から高次生産に至る相互関係、漁場形成などについて、これまで十分に研究されてきたとは言いがたい。研究機関の研究員数の減少傾向が続く中、研究者間の交流促進や情報共有は以前より増して重要になってきている。そこで、本研究集会では、豊後水道とその周辺海域における物理・化学・生物過程の水産海洋研究の事例を広く紹介してもらい、豊後水道を舞台に研究している研究者間の交流促進や情報共有の推進を図るとともに、研究者間の協働に向けた意見交換を行った。

2. 開催概要

開催日時：2020年11月12日（木） 14:00～17:25

2020年11月13日（金） 9:00～12:00

開催場所：愛媛大学総合研究棟 1, 6階会議室

（なお、Zoomによるオンライン視聴を併用した）

参加者： 20名

3. 発表概要

本研究集会では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、特に県をまたぐ移動においては出張自粛や人数の制限などの制約があり、当初予定されていたテーマ別と自由課題を併用した報告の募集が出来なかったことから、全て自由課題とした。

1日目は6題の報告があった。まず、愛媛県海域における話題として、愛媛県農林水産研究所水産研究センターの平井真紀子主任研究員から愛媛県における今年度

の赤潮発生状況について、宇和海におけるタチウオの資源動向について後藤直登研究員（愛媛県農林水産研究所水産研究センター）から報告があった。

次に愛媛大学沿岸環境科学研究センターの加三千宣准教授から、堆積物 DNA を用いた魚類個体数の長期変動について報告があった。

大分県農林水産研究指導センターの竹尻浩平研究員からは新しく建造された新船豊洋の紹介があり、新たな調査機器などについて報告があった。宮崎県水産試験場の山田和也主任研究員からは海洋レーダーを活用した黒潮系暖水の把握について講演があった。水産研究・教育機構の鬼塚剛グループ長からは宇和島湾とその周辺海域における有害渦鞭毛藻 *Karenia mikimotoi* の出現特性について報告があった。

2 日目は 4 題の報告があった。まず、九州産業大学地域共創学部が行平真也から豊後水道の水産物を活かした 2 つのキャンペーンの効果と題して、大分県津久見市で行われた取り組みについて報告があった。次に愛媛大学から 3 題の報告があり、柴川大雅氏からは「豊後水道の沿岸定線観測点における潮流調和定数の推定」、森本昭彦教授からは「平成 30 年豪雨に伴う底入り潮の強化」、前谷佳奈氏からは「係留観測で捉えた 2020 年の底入り潮の発生状況」について報告があった。

2 日間で、豊後水道を取り巻く水産海洋研究等の計 10 題の事例が紹介され、活発な意見交換等が行われた。

総合討論では、当研究集会の継続、次回の研究集会の方針などについて意見交換した。当研究では、豊後水道に関係する多種多様な研究者が一堂に会し、研究者間の交流促進と情報共有が図れていることから、来年度も愛媛大 CMES 共同利用研究を活用して継続的に開催していくこととした。

次年度の研究集会は、各県が取り組む水産海洋研究について引き続き報告を行うことはもちろんではあるが、各県の研究担当者と愛媛大学に所属する研究者が意見交換を行うことが出来る貴重な場所であることから、完結した研究報告ではなく、各県の状況について情報共有を求めるような課題解決のための報告についても積極的に出される方が望ましいとの意見があった。

本研究集会では、その目的である研究者間の協働を強力に推進している。今後も、協働可能な研究テーマについて議論を続け、具体的な現場課題の解決に繋がるような研究集会を目指していきたい。

4. プログラム

日 時：2020年11月12日（木）14：00 ～ 13日（金）12：00

場 所：愛媛大学総合研究棟 1, 6階会議室（松山市文京町 2-5）

Zoom によるオンライン視聴を併用した。

11月12日（木）

趣旨説明：行平真也（九州産業大学）

- (1) 今年度の愛媛県海域における赤潮の発生状況について
平井真紀子（愛媛水研）
- (2) 宇和海におけるタチウオの資源動向について
後藤直登（愛媛水研）
- (3) 堆積物 DNA を用いた魚類個体数の長期変動
加三千宣（愛媛大学沿岸環境科学研究センター）
- (4) 新船豊洋の紹介
竹尻浩平（大分水研）
- (5) 海洋レーダーを活用した黒潮系暖水の把握
山田和也（宮崎水試）
- (6) 宇和島湾とその周辺海域における有害渦鞭毛藻 *Karenia mikimotoi* の出現特性
鬼塚剛（水産研究・教育機構）

11月13日（金）

- (7) 豊後水道の水産物を活かした 2 つのキャンペーンの効果
行平真也（九州産業大学）
- (8) 豊後水道の沿岸定線観測点における潮流調和定数の推定
柴川大雅（愛媛大学理学部）
- (9) 平成 30 年豪雨に伴う底入り潮の強化
森本昭彦（愛媛大学沿岸環境科学研究センター）
- (10) 係留観測で捉えた 2020 年の底入り潮の発生状況
前谷佳奈（愛媛大学大学院）

総合討論